

平和シンポジウム 「1970→2025 -紛争から考える- 調和のとれた社会とは」開催

内閣官房が実施する万博国際交流プログラムの一環として、1970 年大阪万博の開催の地ならではの取組として、当時の万博のテーマ「人類の進歩と調和」になぞらえ、また、昨今の世界情勢も鑑み、市民一人ひとりが「調和のとれた社会」を考える機会となるよう平和シンポジウムを開催いたします。

世界各国で活動されている 3 名のスピーカーを迎えて、紛争の実態や背景、紛争解決に必要なことなどについて、万博国際交流プログラムの本市の相手国であるスイスの事例も交えながら話し合います。また、特別ゲストとして、在日スイス大使館のダビッド・ブラウン公使にも出演いただきます。

1 名称

平和シンポジウム「1970→2025 -紛争から考える- 調和のとれた社会とは」

2 日時・場所

日時：令和 7 年 6 月 28 日（土）10 時～正午

場所：吹田市文化会館（メイシアター）中ホール



3 出演者

【スピーカー】



松野 明久氏
大阪大学名誉教授
(専門：国際政治、紛争研究)



奥本 京子氏
大阪女学院大学教授
(専門：平和紛争学、紛争転換学、
ファシリテーション研究)



堀場 明子氏
日本財団国際事業部シニアオフィサー
(専門：紛争分析、平和構築、東南アジア(インドネシア)地域研究)

【ファシリテーター】



後藤 圭二
吹田市長

【特別ゲスト】

ダビッド・ブラウン氏
在日スイス大使館 公使

4 主催等

主催：吹田市 協力：在日スイス大使館 在大阪スイス領事館

その他、吹田市の万博を契機としたシティプロモーション事業（参考）

吹田クロスロゴ、suitable city みんなで躍動プロジェクトについて

吹田市では、「暮らすにはぴったりなまち」「吹田で実現できる」という意味を込めた「suitable city」をキャッチフレーズに、市民ひとりひとりがそれぞれに応じた豊かな暮らしを実現し、愛着や誇りをもってもらえるまちをめざしています。

1970年大阪万博が開催された本市は、都市部でありながら緑豊かな住環境を持つ、住みやすいまちへと発展してきました。2025年大阪・関西万博をきっかけに、より市民が主体となって、新たな魅力が創造されるまちになるよう、本市のさまざまな魅力を掛け合わせることで新しい価値が生まれることを目指す共有型のロゴマーク『吹田クロスロゴ（Suita Cross Logo）』を新たに制作しました。

suitable cityの更なる実現に向け、令和6年度年から吹田の魅力を知ってもらうワークショップや1970年万博から現代までの吹田のまちづくりを振り返りこれからの吹田のまちづくりの在り方について考えるクロスシンポジウムを開催してきました。令和7年度は国際理解を深めるワークショップや吹田の魅力を一度に味わえるイベントを9月に万博記念公園で開催予定です。

スイタブルシティ公式サイトはこちら
<https://www.city.suita.osaka.jp/suitablecity>



問合せ先

都市魅力部シティプロモーション推進室 担当：山下、田邊、渡邊、大西（電話：06-6318-6371）